

2024 年度若手研究者共同研究プロジェクト実施報告書

法政大学総長 殿

以下のとおり研究実施報告書を提出します。

基 本 情 報	研究課題名：ソ連社会主義リアリズム絵画における「シビア・スタイル」の研究：アゼルバイジャン人画家サラーホフを軸に
	研究代表者氏名：佐藤 大雅
	【在籍者】 研究科・専攻・学年：国際文化研究科・国際文化専攻・博士後期課程 3 年
	指導教員（所属・職・氏名）：佐藤 千登勢（国際文化学部／国際文化研究科・教授） （※在籍者のみ記入）
	共同研究者（所属・職・氏名）： （※指導教員と同人の場合は記入不要）
	その他 研究分担者：
	研究期間： 2 0 2 2 年度 ～ 2 0 2 4 年度（※研究終了年度を記載）

※研究計画の進捗状況を中心に今年度の研究実施状況を記載してください。

1. 2024 年度の活動報告

① 学会発表：3 回

- A) 2024 年 6 月：The 12th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies（国際学会発表、於：韓国・ソウル）
- ・「A Different History of the Severe Style: Paintings in Soviet Azerbaijan in the Khrushchev Era」（英語発表）
- B) 2024 年 11 月：国際文化情報学会
- ・「ソ連期アゼルバイジャン絵画における石油採掘の主題と「現代性」の問題」
- C) 2025 年 3 月：日本ロシア文学会若手ワークショップ「時の脱臼：スラヴ・ユーラシアの文学・芸術における錯時性（アナクロニズム）」（日本ロシア文学会より「若手企画賞」を共同受賞）
- ・「ソ連の〈新印象主義〉——サッタル・バフルルザーデをめぐって」

② 現地調査：1 回

- ・本助成を活用し、前年度に引き続き、アゼルバイジャンにおいて現地調査を実施した。当該現地調査の概要は以下の通り。

期間	2024 年 8 月 1 日～11 日
現地調査先	アゼルバイジャン・バクー市

- ・当該現地調査では、主に以下 i ～ iii を実施。
 - i. アゼルバイジャン国立図書館における資料収集（国内所蔵のない書籍・雑誌・新聞記事の複写等を実施）
 - ii. 書店及び古書店での資料収集
 - iii. 美術館訪問（現代美術スペース「YARAT」）
 - iv. ゴブスタン国立保護区の訪問・写真撮影（世界遺産・ゴブスタン国立保護区を訪問し、「岩絵」（同国の画家の創作のモチーフになっている）の写真撮影を実施。）

2. 2024 年度に実施した研究発表の概要

- A)（上記 1.①「学会発表」の項と対応、以下同）：ソ連における公式芸術の規範であった社会主義リアリズムにおいては、「内容においては社会主義的、形式においては民族的」であることが求められた。「内容においては社会主義的」という観点からは工業化（特に電化）の主題が重要視されていた。産油国アゼルバイジャンにおいては、石油採掘の主題が「社会主義的」とであると同時に、「民族的」な主題として機能していたことを明らかにした。
- B)：上記 A) での発表での分析内容を掘り下げ、ソ連期アゼルバイジャン絵画における石油採掘の主題の歴史的展開を分析した。「現代性」というキーワードを切り口に、石油採掘の主題が如何に「シビア・スタイル」の発展に寄与したかを明らかにした。
- C)：ソ連期に活躍したアゼルバイジャンの画家、サッタル・バフルルザーデについて、日本で初めて紹介した。バフルルザーデを「新印象主義」の画家として捉え直すことで、ソ連における印象主義の展開を明らかにすると共に、「シビア・スタイル」と同時代の芸術の動向について明らかにした。

3. 次年度以降について

- 本助成の期間中は、主に現地調査及び学会発表を実施させて頂いた。今後、本助成での調査結果を基に、来年度に向けて論文を準備中。助成期間は今年度で終了となるが、引き続き本助成での研究成果として活用させて頂く予定（当該論文には本助成名をクレジットさせて頂く予定）。

年
間
の
研
究
実
施
概
要

研 究 業 績	成果発表（学会・論文・研究会等）		
	学会・論文・研究会等の別	タイトル	発行または発表年月
	（国際学会発表）The 12th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies	A Different History of the Severe Style: Paintings in Soviet Azerbaijan in the Khrushchev Era（英語発表）	2024 年 6 月
	（学会発表）国際文化情報学会	ソ連期アゼルバイジャン絵画における石油採掘の主題と「現代性」の問題	2024 年 11 月
	（学会発表）日本ロシア文学会若手ワークショップ「時の脱臼：スラヴ・ユーラシアの文学・芸術における錯時性（アナクロニズム）」	ソ連の〈新印象主義〉—サッター・バフルルザーデをめぐって	2025 年 3 月
	その他（アピールすることがあればご記入ください。） 日本ロシア文学会「若手企画賞」共同受賞		